

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.41》2016年7月発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎  
[hori-syunro@pref.oita.lg.jp](mailto:hori-syunro@pref.oita.lg.jp)

4月の地震から2ヶ月が過ぎた今も、風評の影響で大分県への宿泊者が大きく減少していることから、7月より「九州ふっこう割」キャンペーンが始まりました。主に5割から最大7割引きの旅行商品が随時発売されるとともに、コンビニで5割引きとなる宿泊クーポンもまもなく売り出されます。海外からの割引旅行商品も発売予定であり、この夏、大分への旅がお薦めです。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



## 大分県の海外関連施策について



企画振興部  
観光・地域局  
交通政策課 課長

**土田 宏道**

(Hiromichi TSUCHIDA)

【連絡先(Mail)】

[tsuchida-hiromichi@pref.oita.lg.jp](mailto:tsuchida-hiromichi@pref.oita.lg.jp)

大分県の交通行政を担当しています土田です。よろしくお願いします。  
2014年7月に国土交通省から大分県交通政策課に着任し、丸2年が経ちました。  
大分には、日本一の温泉に加え、豊かな自然とおいしい食べ物があり、とても住みやすく大変充実した毎日を過ごしながら、仕事にも励んでいます。  
当課では、地域に密着した路線バス、離島航路や鉄道等の「地域交通」、本州、四国地方と結ばれたフェリー航路や国内外と結ばれた航空路線等の「広域交通」と、県民の生活や暮らしを守り、あるいは経済活動を支える重要な社会基盤である交通の維持・充実に取り組んでいます。

その中でも今回は、特に、海外県人会の皆さまに関係する航空路線の充実についてご紹介します。

現在、大分空港の国際線は、韓国・ソウル(仁川)線がLCCティーウェイ航空により週4便で運航されており、LCCならではの低料金での運航によりお得に利用できることから、多くの韓国人の方にご利用いただき、昨年度のソウル線の利用者数は約6万人と過去最高を記録したところ



です。  
このような増加するインバウンド旅行者を、他の国・地域からも取り込むため、大分空港国際線の充実に力を入れています。特に台湾を最重点地域としてチャーター便の運航を積極的に誘致活動を行ってきました。

昨年秋の10月～11月には、台中空港を拠点とするマンダリン航空によるインバウンドチャーター便が計7往復運航されたことから、その後も引き続き他の季節での運航を働きかけた結果、9月15日から12月下旬まで、毎週木曜と日曜に台中⇄大分の定期チャーター便が約30往復運航されることになりました。

定期チャーター便の利用が好調ですと、定期便の就航に近づきますので、皆さまにはお知り合いの方にぜひお知らせいただき、利用による大分空港の新たな国際定期便開設の後押しにご協力くださいますようお願いいたします。

## 注目記事① 太平洋諸国大使等が知事を表敬

立命館アジア太平洋大学にて開催された太平洋諸国の気候変動に関する会議に6カ国から大使が参加し、留学生と交流や、OPAMや由布市を視察したほか、トンガ王国駐日大使、マーシャル諸島共和国駐日大使等が知事を表敬しました。

知事との懇談では、太平洋諸国と大分県の今後の交流促進について意見を交わしたところでした。



## 注目記事② 中国東北部・大連で県産品・観光PR

中国の東北3省(遼寧省、吉林省、黒竜江省)は人口1億人、面積は日本の約2倍で重工業を中心に発展した地域です。中でも遼寧省大連市は積極的な外交を進めており、人口は700万人、歴史的な背景から親日的で、日本語を話せる人も多く、日本人も約6000人在住しているとされ、日本との関係も深い市です。

その大連市で6月9日(木)～12日(日)に開催された「日本商品大連地区巡回展」に参加しました。ブリフレ(切り身)や水産加工品、日本酒など県産品を出展するとともに、大分県の観光復興PRを行いました。来場者数は4日間で延べ約25万人。来場者の前でブリをさばき、竜田揚げに調理して振る舞うとともに、県内7酒造メーカー26銘柄の酒の販売促進や、“シンフロ”動画の上映、現地メディアからの取材を通して、大分の魅力を発信することができました。併せて、現地での市場調査や商社との商談も行い、今後の取引の可能性を確認することができました。【おおいたブランド推進課】

〔開幕式(尾野部長登壇)〕



〔ブリの実演販売〕



〔現地での取材〕



〔酒の販売促進〕

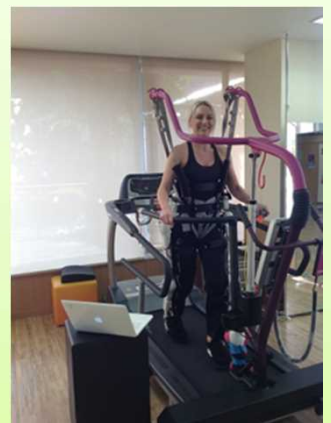


## 注目記事③ 「HAL FITツーリズム」海外からの利用者

東九州メディカルバレー構想を推進する本県では、サイバーダイン社のロボットスーツHAL®による世界最先端の歩行トレーニングと豊かな天然自然や県内の温泉観光などを組み合わせたプログラム「HAL FITツーリズム」を平成27年度に開発したところです。5月29日から6月11日にかけて、このプログラムの利用者が米国から初めて来県し、別府市にある大分ロボケアセンターで2週間のトレーニングを実施しました。利用者からは、「出会った人が皆親切で、フレンドリーでした。温泉につかってトレーニングの疲れを癒やすことができ、観光やグルメも楽しめました。」と大変好評でした。

このプログラムを開発した大分県医療ロボット・機器産業協議会では、今年9月に海外から更に多くの方に来県して利用して頂くため、4カ国語でPR動画を作成し、ホームページに掲載することにしています。どうぞご期待ください。

【産業集積推進室】



〔トレーニング中の利用者〕

## 注目記事④ JICA事業に公共トイレシステム事業が採択

国際協力機構(JICA)が実施する「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」に、バイオ式分解トイレ「バイオミカレット」の海外展開を図る合同会社TMT. Japan(大分市)の「バイオトイレを活用した下水道未整備地域における公共トイレシステムの構築」事業が採択され、知事に報告しました。

この事業は、カメルーンに、インフラとしての公共トイレシステムを構築すべく、首都ヤウンデ市や国立ヤウンデ第一大学と連携して現地でのトイレ設置・維持管理を行うODA事業で、設置台数は20台を予定しています。

事業実施の前段階である「案件化調査」を平成27年5月～12月に実施し、平成28年2月に「普及・実証事業」の採択を受けました。平成29年まで実証を行い、30年から現地製造・販売・展開を目指しています。



## 中国湖北省研修員・謝芳(シャ ホウ)さんが来県

皆さん、はじめまして、中国の湖北省宜昌市から参りました研修員の謝芳(シャホウ)と申します。宜昌市は長江の真ん中にあり、湖北省の西部に位置する地級市です。私はそこの人民政府外事弁公室に勤めております。この度、自治体職員協力交流事業(LGOTP)に参加して、大分県庁国際政策課に配属されました。日本に来たのは二回目ですが、大分県は初めてです。来る前に、滋賀県で一カ月間日本語の研修を受けました。日本語がまだ勉強中で、新しい環境に慣れるまでには、少々時間がかかると思っております。



雄大な山と美しい海に囲まれ、きれいな街並みというのは大分への第一印象です。これからの五ヶ月間、配属先でいろいろなことを研修して、様々なノウハウを学びます。また、豊かで美しい大分を味わうために県内のあちこちを見回り、自分の視野を広げ、充実した研修生活を送りたいと考えております。今後、宜昌市と大分県との友好交流の懸け橋になれば、なにより良いと思っております。皆さん、どうぞ、よろしくお願ひいたします。

## 英国研修レポート



【テートモダン  
ミュージアム】

6月から8月まで、総務省の地方公務員海外派遣プログラムにより、ロンドンを拠点に研修を行っています。

イギリスでは6月23日に、EU離脱を問う国民投票が行われました。結果は52%:48%という僅差で離脱という結果になりましたが、地域によって偏りがあるようで、ロンドンが多文化都市を自負しているだけあり、EUとの関係を重視する残留票が過半数を占めました。これから離脱に向けて大幅な変革が必要になるということで、特に残留派の方は不安に感じているようです。

そうした悩ましいニュースがある一方、ロンドン市民の間では、テートモダンミュージアムの新しい展示棟が6月にオープンしたことも話題になっています。テムズ川南岸にあるこの美術館は、ピカソやウォーホルといった有名画家の作品から、新進気鋭のアーティストの作品まで、様々な近代アートに触れることができます。火力発電所だった建物を再利用したもので、会場はとても広いのですが、その隅々までアートで埋め尽くされています。そして、なんと入場料が無料なのが魅力です。ロンドンは、大英博物館をはじめ、世界的に有名な展示物がある博物館や美術館のほとんどが入場無料です。休日は美術館、博物館めぐりで充電しながら、研修に勤しみたいと思います。

【国際政策課 難波】

## 海外大分県人会交流掲示板



北京大分県人会は、大分にゆかりのある方、大分に留学された中国人の方々に構成されております。主な活動は懇親会の開催や、毎年2月に日本大使館で行われる全県対抗歌合戦への参加です。北京はおいしいお店が多いので、毎回どこを懇親会会場にするかが悩むところです。

当県人会では5月20日に、日本式の焼き鶏料理が自慢の大徳酒場好運街店で懇親会を開催いたしました。その席で、北京の各県人会が協力して行っている熊本大分地震支援のための『北京有志「会」被災者支援ネット』への寄付金を募って、皆様より頂いたお志を寄付いたしました。

北京にお越しの際はご一報いただけましたら幸いに存じ上げます。

連絡先はこちらです。 [oitabj@yahoo.co.jp](mailto:oitabj@yahoo.co.jp)

北京大分県人会 鈴木昭吾 様より



### 北京大分県人会



### フィリピン大分県人会



フィリピン大分県人会は2015年1月の発足以来、年に2～3回の頻度でマカティ市内で懇親会を開いています。先日(6/24)の夜、今年度第2回目の県人会を開催し、大分県庁様からいただきました県旗をお披露目しました。

また初参加となりました清田(佐伯市出身)さんには「おんせん県のバッチ」を渡しました。当県人会ではこのバッチを会員証代わりに渡しています。

さて当日は大分県の高校野球・佐伯ラーメンの話など、いいちこを飲みながらローカルな話題で大変盛り上がりました。最後に会員数は6名と少数ですが、積極的に会員の輪を広げるべく活動をして行きたいと思います。

フィリピン大分県人会会長 恒松秀紀 様より



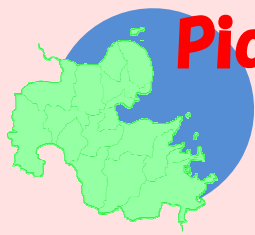
### ロサンゼルス大分県人会

岐阜、石川、佐賀、徳島、茨城県と合同で、6県主催のバーベキューピクニックがトーランス市のウイルソン公園で開催されました。

午前中のソフトボール大会に続き、午後から色々なバーベキューにフルーツ、ご飯、デザートなど盛りだくさんの食べ物に加えて、スイカ割りやジェスチャーゲームに最後は、素敵な景品のあたるラッフルゲームで一日が終わりました。

ロサンゼルス大分県人会会長 會田裕二 様より





**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（6月）



**【6月8日、11日、18日】 映画・動画の話題**

## 【8日】「シンフロ」がギャラクシー賞受賞

温泉でシンクロナイズドスイミングをする県のプロモーション動画「シンフロ」が、優れた放送に贈られる「第53回ギャラクシー賞」CM部門「選奨」を獲得しました。選奨は、大賞、優秀賞に次ぐ賞で、240作品の中から選ばれました。



## 【11日】大分県ロケ地のサブイボマスク全国公開

中津、杵築市をメインに撮影が行われた映画「サブイボマスク」が全国に公開されました。地元のさびれた商店街を盛り上げるため歌と熱意で町おこしに取り組んでいく姿を描いた物語で、県内3か所でおよそ1か月にわたり撮影が行われました。子役として県内からも2名出演しています。

## 【18日】APUと吉本興業が共同制作した短編映画が上映

立命館アジア太平洋大学と吉本興業との連携協定がきっかけで制作された、別府市鉄輪を舞台にしたファンタジー作品「雲の街」(24分)が別府市で上映されました。この映画は第8回沖縄国際映画祭にて地域発信型映画の一つとして制作され、4月に沖縄県で披露されたものです。外国人留学生が、別府の湯煙が「雲の工場」に見えたという視点を生かし脚本が作られました。



**【6月1日(水)】大分空港に足湯がオープン**



空の玄関である大分空港に、足湯が1階到着ロビーに常設で設置されました。別府温泉かけ流し(40～42℃、単純泉)で、営業時間は11時～18時、入浴は無料です。ストッキングや靴下の着脱用で更衣室があり、また、空港限定のおんせん県手ぬぐいも販売しています。



**【6月5日(日)】第64回「くじゅう山開き」が開催**



くじゅう連山の山頂祭が大船山であり、神事のあと、登山者には記念品のペナントが配られました。あいにくの小雨でしたが、連山一体のミヤマキリシマも見頃で、多くの登山者が登山を楽しみました。



## めじろん海外特派員 アシラヤーさんが来課

今年3月にAPUを卒業しめじろん海外特派員に任命されたヌアンチャンノン アシラヤーさん(タイ出身)が来課し近況報告をされました。

現在、京都府にある旅行会社京都支店の営業課に勤めています。関西を中心に取り組まれているそうで、「お手伝い出来ることがあればぜひお声がけください」とのことでした。



# From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミアム・スターリング  
(Miriam Starling)  
県国際交流員  
英国  
[pu101503@pref.oita.jp](mailto:pu101503@pref.oita.jp)

6月に、神戸に住んでいるイギリス人の友達が大阪に来ました！3回目だったし、彼女が前にもWhat's Up Oitaに出ましたが、今度、彼女が行ったことがなかった湯布院に1泊旅行に行きました(電車に乗る前に、天気が晴れたので、大分駅の屋上にある小さな電車の線路を持つ庭にも行きました)。友達は温泉が大好きだし、最近仕事で残業が多いので、湯布院の温泉行きたいと言いました。4月の地震のせいで、湯布院へ行く観光客が少なくなってしまったと聞きまして、残念だと思います。湯布院は頑張って、回復しています。友達と私は美味しい物をたくさん食べたり、買い物をしたり、温泉に入ったりしました。食事はもちろん大分名物たっぷりでした(湯布院ビール、豊後牛等)。ホテルの温泉からあがったら、肌がすべすべになって、夜、和室でぐっすり寝られました。「日本の旅好きだ！」と思いました。友達も、残業の疲労が温泉と食事のおかげで消えたかもしれない… (ちなみに、浴衣を着ながら、和室の畳の上でビデオゲームをしました。昔の日本と現代の日本のミックスと言えるでしょうか)。今月のEU選挙のストレスがあって、ゆっくりできる湯布院へ早く戻りたい！ということも、思っています。



金 眞雅  
(Kim Jina)  
県国際交流員  
韓国  
[pu101502@pref.oita.lg.jp](mailto:pu101502@pref.oita.lg.jp)

ティーウェイ航空が6月から運行を再開し、飛行機代も安いので、韓国から2人の友達が来てくれました。あいにく雨の日が続いて、計画通りには動けず雨にも屋根があって入浴できる別府海浜砂湯に連れて行きました。まず、浴衣に着替えて砂の上に横になると砂掛けさんが砂をかけてくれます。ちょうど良い温度の砂で身体が温まり、雨と波の音が聞こえてきてとても気持ち良かったです。また、砂掛けさんが慣れた手つきで色々な角度から写真も撮ってくれておもしろかったです。友達も新鮮な経験だったと大満足でした。夜には居酒屋に行きましたが、飲み放題というものが韓国にないため、韓国にもあればいいなど言いながら友達2人で17杯も飲んでいました。



シェリダン・ミキシック  
(Sheridan McKisick)  
県国際交流員  
米国  
[pu1014001@pref.oita.jp](mailto:pu1014001@pref.oita.jp)

日田に行き、サッポロの黒ラベルとエビスビールをつくるサッポロビール工場に行きました。

一番おもしろかったのは、組み立てラインでした。組み立てラインで様々な機械が運動しており人間が少ないです。さらに、瓶の組み立てラインの長さは約400mで缶の組み立てラインは約500mです。この組み立てラインでは、エビスビールを含みいろいろなサッポロビールの種類が製造されます。エビスビールの見学にもおもしろいことを知りました。例えば、東京の恵比寿の名は「エビスビール」のえびすから来ました。ほかのおもしろく知らなかったことは工場が日田に作られた理由です。日田の水質は有名で最高なので、日田が工場の場所として選ばれました。

しかし、おもしろいことを学ぶ代わりに、皆はビール工場を見学して、一番楽しいと思ったことはビールを試飲することでした。黒ラベルとエビスを見学した後で、サッポロビールを飲みました。しかし、私はアルコールを飲まないなので、ノンアルコールのサッポロを飲みました。二つの種類があり両方を試飲しました。見学と同じように、良い経験でした。



章 羽紅  
(Yuhong Zhang)  
県国際交流員  
中国  
[pu101501@pref.oita.jp](mailto:pu101501@pref.oita.jp)

6月11日に、湯布院市平石農事組合法人倉庫の前で第6回ひらいしホタル観賞会が行われました。夕方7時過ぎに、ホタルの生態についての説明のあと、一時間ほど柵田で散策をしました。ホタルは環境に厳しい昆虫なので、今ではほとんど見られなくなりましたが、柵田で散策した時に、キラキラといっぱいホタルが飛んでいました。蛙の鳴き声も耳に響きました。まるで子どもの時代に戻ったように感じました。

観光客は地元の人以外に、大分市内からの子供連れの家族が多かったです。都市の子供たちに珍しいホタルの存在、蛙の鳴き声、また柵田の風景を体験させたい親の気持ちがよく分かります。柵田の保存、ホタルの存続をぜひ皆さんの協力でやってほしいです。



## なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

### 【津久見市／竹田市】



(津久見市)  
「津久見みなと祭り」  
2日間の一大イベント  
市民総踊りと花火大会がある



(津久見市)  
「きよろっけ」  
新鮮な野菜をたっぷり入れて  
作った魚肉練製品



(竹田市)  
「ガンジーファーム」  
国内では珍しいイギリス原産  
の乳牛「ガンジー牛」を飼育



(竹田市)  
「音無井路円形分水」  
公平に水を分配することを目的  
に昭和9年に設置



## 話題提供のお願い！

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】

国際政策課 担当:野田

【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

